



第 59 回 近畿高等学校ユース陸上競技対校選手権大会

競技注意事項

1 競技規則について

- (1) 本大会は、2026 年 公益財団法人 日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項により実施する。
- (2) 本大会は、WRk 対象競技会とする。ただし、リレー種目と投てき種目については WRk 対象競技会としない。
- (3) 【TR4.4】（参加の拒否）のうち【TR4.4.2】は本大会では適用しない。ただし【TR4.4.3】については適用する。
- (4) 審判長および競技役員はいつでもシューズチェックをすることができ、競技者はその指示に従わなければならない。明らかに規則・規程違反のシューズや疑わしいシューズは、チェックや回収の対象になることがある。競技後にシューズの違反が認められた場合は、審判長が「失格」と判断し、記録が取り消される場合がある。

※競技用靴・靴底厚さ表

種目	靴底最大の厚さ	要件備考
トラック種目 ハードル種目 障害物競走	20mm スパイクシューズ または ノン・スパイクシューズ	競技場内で行う競歩競技の靴底の厚さは道路競技と同じとする
フィールド種目	20mm	全跳躍種目で、靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。（前足の中心は、靴の内部の 75%にある靴の中心点。踵の中心は、靴の内部の長さの 12%にある靴の中心点）
道路競技 (競走、競歩)	40mm	

※その他詳細、WA 承認靴リストについては、<https://certcheck.worldathletics.org> を参照すること。

2 練習について

- (1) 練習の時間帯は、下記の通り。

	本競技場	補助競技場
9月17日(木)	13:00～17:00	13:00～17:00
18日(金)	7:30～8:40	7:30～17:30
19日(土)	7:30～8:30	7:30～18:00
20日(日)	7:30～8:30	7:30～15:00

※本競技場では、競技会運営の準備も並行しておこなうので、安全に十分注意すること

- (2) 本競技場での練習は、トラック・跳躍種目とする。補助競技場を含め競技場備え付けの用具を使用すること。ゴムチューブ・ミニハードル・ラダー等を使用してのスピード練習は禁止する。
- (3) 補助競技場のフィールド内ではスパイクシューズ・ミニハードル・ラダー・シートの使用を禁止する。
- (4) 投てき練習は、競技場の内外を問わず一切禁止する。ただし、投てき専用サークルでのフォーム練習等は認める。（投てき物の使用は一切認めない）
- (5) 練習会場での練習は事前に注意事項を確認し遵守するとともに、必ず競技役員の指示に従うこと。

3 招集について

- (1) 招集所は、第4ゲート外側に設ける。
- (2) 各種目の招集開始時刻・完了時刻は、プログラムの競技日程欄に記載されている。
- (3) スマートフォン・タブレット等の電子通信機器は、招集所内・競技エリア内に持ち込まないこと。
- (4) 招集の手順
 - ① 競技者は、招集開始時刻までに招集所で待機し、競技者係の点呼を受ける。その際、アスリートビブス、競技で使用するシューズの確認を受ける。
 - ② トラック種目は、競技者係の点呼を受け、オープンレーン種目については同時に腰ナンバーを2枚受け取り、両腰のやや後方につけること。3000m・3000mW は、別ビブス1枚も受け取り前面につけること。なお、背面のビブスは個人のビブスをつけること。
 - ③ 代理人による招集の点呼は認めない。ただし、同日に2種目以上にわたって同時刻に出場する競技者は、第1種目の招集時に、本人が所定の「多種目同時出場届」（用紙はプログラム巻末の所定のもの）を競技者係へ提出し、併せて招集を受けることができない種目の点呼（アスリートビブス、競技で使用するシューズの確認、腰ナンバー等の受け取り）を受けておくこと。
 - ④ 招集完了時刻に遅れた競技者は、出場する意思がないものとみなし処理する。



第 59 回 近畿高等学校ユース陸上競技対校選手権大会

(5) リレー種目について

- ① 「オーダー用紙」は、各ラウンド(予選・準決勝・決勝)ともに、その種目の第1組目の招集完了時刻の1時間前までに競技者係(招集所)へ提出すること。プログラム巻末の所定の用紙に、必要事項を記入のうえ提出し、「控え」を受けとること。「オーダー用紙」の提出がない場合は、出場する意思がないものとみなし処理する。
 - ② 出場メンバー全員が点呼を受けること。ただし、他種目に出場している場合は、上記(4)③に準ずる。
 - ③ リレー種目の第4走者は両腰に腰ナンバーをつける。また、4×400mRの第2・3走者も、次走者の待機順を明確にするため、左腰にのみ腰ナンバーをつける。
 - ④ ユニフォームは、同一校と判断できるものを原則とする。
- (6) 招集所から競技場所への移動は、競技者係の指示に従うこと。
- (7) やむなく欠場する場合は、招集開始時刻までに「欠場届」を招集所へ提出すること。用紙は、プログラム巻末の所定の用紙を使用すること。

4 競技進行について

(1) 番組編成及びラウンドの通過について

- ① トラック競技の予選のレーン順、および跳躍競技の予選・投てき競技の決勝の試技順は、すべてプログラム記載左側に示された番号順とする。なお、準決勝以降の組み合わせは、すべて番組編成員がおこない、場内アナウンスするとともに、「奈良県高体連 陸上競技専門部のWEBページ」に掲載する。
- ② トラック競技における次のラウンドへの進出者について
(ア) (+ α)を決めるとき、その最下位で同タイム(1/100 単位)が出た場合、写真を拡大して1/1000 秒単位で優劣の判定をする。
 - ・レーンに余裕がある場合：同タイム(1/1000 秒単位)の選手の出場を認める。
 - ・レーンに余裕がない場合：本人または代理人により抽選する。
(イ) 同着により着取りによる進出者が増えた場合は、(+ α)での進出者数を減らす。
- (ウ) オープンレーンを使用する種目(800m含む)は、同タイム(1/1000 秒単位)の競技者は、全員次のラウンドに進める。
- (エ) 800mについては中位の第7レーンに2名の競技者を配置する。第7レーンの次には第2レーンに2人を配置する。

(2) 競技について

- ① 競技結果については、場内アナウンス発表するとともに、「奈良県高体連 陸上競技専門部WEBページ」に掲載する。なお、競技結果が場内アナウンスされた時点が正式発表とする。
- ② 当該種目出場競技者以外は、競技エリア内に立ち入ることはできない。
- ③ スパイクのピンの本数は、11本以内とし、長さは9mm以内のものを使用すること。ただし、走高跳・やり投については12mm以内とする。また、先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合しなければならない。
- ④ アスリートビブスは、配布された大きさのままで、ユニフォームの胸部と背部つけること。ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸部または背部だけでもよい。
- ⑤ 不正スタートについては、一度の不正スタートでもその責任を有する競技者は失格とする。
- ⑥ 男女3000m、男女3000mWは、それぞれ1・2年同時スタートでおこなう。
- ⑦ 男子3000mWは競技開始後18分を経過した段階で、女子3000mWは競技開始後20分を経過した段階で、最終周回に入る手前の選手はそれ以降の競技続行を認めず、競技中止とし、記録は「DQ OT」として扱う。
- ⑧ 男女3000m・男女3000mWは、危険防止のためグループスタートでおこなう。
- ⑨ トラック競技の短距離種目では、競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン(曲走路)を走ること。
- ⑩ 4×100mRのマーカーは、主催者が準備し、招集時に招集所で配布する。競技終了後、必ず自チームのマーカーを前走者が取り除くこと。
- ⑪ フィールド競技において、近接の観客席に「コーチ席」を設けるので、競技者への助言はすべてコーチ席からおこなうこと。
- ⑫ 競技区域内(招集所内を含む)に携帯電話、スマートフォン、タブレット等の電子通信機器を持ち込むことはできない。また、競技エリア内で助力を与えたり受けたりしている競技者は失格の対象となる。ただし、フィールド競技に出場している競技者が、それ以前の試技の映像を見るために、コーチ席から録画再生機器等を手に取り、その付近で操作する場合に限り、競技区域内に持ち込むことを認める。通信通話機能を使用した場合は失格となる。なお、メインスタンドにおいて受け渡しする場合は、指定されたエリアでのみ認める。その際、事故等が起こらないように安全面には十分に配慮すること。また、事故等が起こった場合、主催者は責任を負わない。



第 59 回 近畿高等学校ユース陸上競技対校選手権大会

- ⑬ 競技エリアに個人所有の椅子、大型クーラーボックス等、安全を確保できないと判断されるものを持ち込むことを禁止する。
- ⑭ 熱中症対策としての飲料や氷を受け渡す場合は、必ず競技役員の許可のもと、コーチ席から手渡すこと。
- ⑮ 競技場内での練習は競技役員の指示に従うこと。
- ⑯ フィールドについて
- (ア) 競技場内の練習は、すべて競技役員の指示に従うこと。投てき競技の練習は原則 2 回とするが、進捗状況などにより回数の変更がある。跳躍競技については、下記を確認すること。
走高跳・・・試技順に足合わせ 1 回、公式練習 2 回
棒高跳び・・・試技順に足合わせ 2 回、公式練習 2 回（ゴムバーを使用する）
走幅跳・三段跳・・・試技順に足合わせ 1 回、公式練習 2 回
 - (イ) 男女走幅跳・三段跳びはメインスタンド前ピットで行う。
1 年生は B ピット（スタンド側）2 年生は A ピット（トラック側）で行う。
 - (ウ) 三段跳の踏切板は、男子：1 2 m 0 0、女子：1 0 m 0 0 に設置する。
 - (エ) 跳躍種目、及びやり投の競技者は、助走路の外側（走高跳は助走路内）に主催者が用意したマーカーを 2 つ置くことができる。また、サークルで行う投てき種目は、マーカーを 1 つだけサークルの外側に使用することができる。使用することができるマーカーは、競技役員が現地で渡す。
 - (オ) 手拍子を求めることについては、TOP 8 以降（走高跳・棒高跳においては上位 8 名程度）に限る。
 - (カ) 棒高跳用ポールの保管場所は、トレーニング室に設ける。競技が行われている時間帯は、TIC の指示に従って出し入れすること。

(3) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、下記の通り。

男子 走高跳	1 年	(練習)	1m70	1m86	1m75－80－83－86	以後 3cm ずつ	
	2 年	(練習)	1m75	1m91	1m80－85－88－91	以後 3cm ずつ	
女子 走高跳	1 年	(練習)	1m44	1m53	1m47－50－53－56	以後 3cm ずつ	
	2 年	(練習)	1m50	1m59	1m53－56－59－62	以後 3cm ずつ	
男子 棒高跳	1 年	(練習)	3m10	3m70	4m30	3m20－40－60－70	以後 10cm ずつ
	2 年	(練習)	3m50	4m00	4m50	3m60－80－4m00－10	以後 10cm ずつ
女子 棒高跳	1 年	(練習)	2m20	2m60	3m00	2m30－40－50－60	以後 10cm ずつ
	2 年	(練習)	2m80	3m30	3m80	2m90－3m00－10－20	以後 10cm ずつ

※公式練習の高さについては練習の進捗状況に応じて追加することがある。

※同記録による 1 位決定のバーの上げ下げは、走高跳 2 cm、棒高跳 5 cm とする。

5 競技用具について

- (1) 棒高跳用ポール・やり以外の競技用具は、競技場備え付けのものを使用する。
- (2) やりは競技場備え付けのものを準備するが、検査を受けて自己の物（2 本のみ）を使用してもよい。その場合、出場競技者全員で共有できるものとする。全競技者の競技終了後、南用器具庫（フィニッシュ地点横）で返却する。検査受付は、競技開始時刻の 80 分前から 60 分前までとし、南用器具庫（フィニッシュ地点横）でおこなう。その際、投てき用具検査申請書（やり）を各自で印刷するか、南用器具庫（フィニッシュ地点横）で受け取り、必要事項を記入して提出すること。

6 抗議について

- (1) 競技中に起きた競技者の結果または行為に関する抗議は、TIC に申し出て、各府県監督（当該校顧問同伴）より、その種目の結果が正式発表されてから 30 分以内（同一日に次のラウンドが行われる種目では 15 分以内）に、審判長に対して申請すること。抗議者は TIC に口頭で申し出ること。
- (2) 抗議に対して審判長は速やかに裁定し、TIC を通じてその裁定を伝える。この裁定に不服がある場合は、各府県監督（当該校顧問同伴）が、預託金 20,000 円を添えて「上訴申立書」（TIC に用意）を TIC に提出しなければならない。なお、「上訴申立書」の提出時刻は、審判長による裁定の公式発表または抗議者に対する通告から 30 分以内（同一日に次のラウンドが行われる種目では 15 分以内）とする。

7 表彰について

- (1) 各種目 3 位（リレーは 6 位）までの入賞者は表彰をおこなうので、結果発表のアナウンス後直ちに、受賞者席（メインスタンド下中央ロビー）に集合すること。
- (2) 表彰式では以下の表彰を行うので、当該校（者）は必ず参加すること。
- ① 総合 3 位までに入賞した学校（男子総合・女子総合・学年別男子総合・学年別女子総合）



第 59 回 近畿高等学校ユース陸上競技対校選手権大会

- ② 男女各学年の優秀競技者
- ③ 男女各総合優勝校の顧問・監督

8 一般的注意事項

- (1) 競技場の開門は、3日間とも7時30分とする。(北側大階段・第1ゲートから順次開門する)
- (2) テント、シート、横断幕、のぼりについて
 - ① メインスタンド2階コンコース(2階通路)は、シートのみとし、テントの設置は禁止する。
 - ② メインスタンド2階コンコース(2階通路)・上段の座席は、事前に各府県で割り当てられた場所を使用すること。指定されている範囲を越えての場所取りは禁止する。
 - ③ 競技場外の場所取りは、各府県で割り当てられた場所以外は一切禁止する。
 - ④ 競技場内に設営しているテント・シート等は毎日撤去し、持ち帰るか小さくまとめてその場所に置いて帰ってもよい。(破損、盗難等の責任は負わない)
 - ⑤ 競技場外に設営しているテント・シート等は毎日撤去し、持ち帰ること。
 - ⑥ 横断幕、のぼりは各府県で割り当てられた場所に設置すること。また、大会期間中設置したままでもよい。
- (3) 競技者の入退場は競技場の各ゲートから行き、みだりに競技場内(本部席前)の横断や通過はしないこと。
- (4) 応援について
 - ① 応援はスタンドで行い、立入り禁止区域には入らないこと。
 - ② メインスタンドや各フィールド種目競技付近での集団応援は禁止する。
 - ③ メインスタンド通路での、立っての応援は禁止する。
 - ④ メインスタンド通路より下の、日傘や雨傘の使用は禁止する。
- (5) 更衣室の使用は、更衣のみとし、私語はせず、使用後は速やかに退室すること。また、一切の私物を置いてはならない。
- (6) 競技中に起こったケガについては、本部の医務室で応急処置のみ行う。
- (7) スタンド等使用した場所は、各校で責任を持って清掃し、ゴミ等は各校で持ち帰ること。駅・競技場周辺のゴミ箱等には絶対放置しないこと。
- (8) 競技場内や補助競技場内での日傘や雨傘の使用は、安全に十分留意すること。
- (9) 貴重品、荷物等は各自・各校で管理し、盗難等に十分注意すること。
- (10) フィニッシュ後のスタート地点への移動等は、競技役員の指示に従うこと。また、通行禁止や使用禁止の表示のある場合は、厳守すること。
- (11) 個人情報の取り扱いに関して
 - ① 本大会に関して寄せられた個人情報は、本大会の目的以外に使用しない。
 - ② 参加申込書の提出により、上記①の取り扱いに承諾を得たものと見なし氏名・学校名・学年・記録を紹介し掲示板に掲載する。また、本大会が認めた報道機関にも公表する。入賞者は報道機関の取材を受けることがある。
 - ③ 本部が認めた報道機関が撮影した写真が、新聞・大会報告書・ホームページ等で公表されることがある。